

- (1) 図1～図3は、日本の春、梅雨、夏、冬のいずれかのうち、3つの特徴的な天気図である。これについて、あとの各問いに答えなさい。

図1

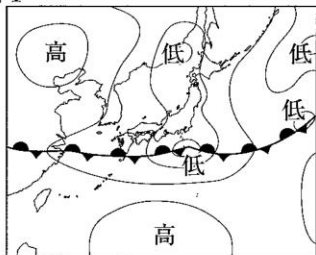


図2

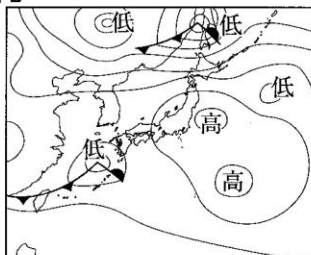
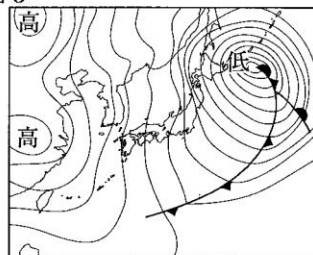


図3



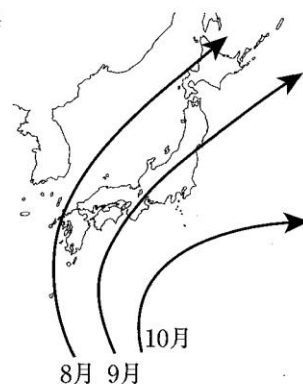
- ① 図1の日本付近には前線が見られる。図1に表された前線の記号は何前線の記号か。名称を答えなさい。
- ② 次の文は、図1の前線が発生する原因について説明したものである。文中の□にあてはまるものとして適当なものはどれか。あとからそれぞれ1つずつ選び、記号で答えなさい。
- 日本列島の北の□a性質をもつ気団と、南の□b性質をもつ気団とがぶつかり合い、それぞれの気団の勢力がほぼ同じであるから。
- ア あたたかく、乾燥した イ あたたかく、湿った
ウ 冷たく、乾燥した エ 冷たく、湿った
- ③ 図2の天気図が見られる時期には、低気圧と高気圧が次々に日本列島付近を通り、同じ天気が長く続かない。この時期によく見られる高気圧を特に何というか。名称を答えなさい。
- ④ 次の文は、図3の天気図が見られる時期にふく季節風について説明したものである。文中の{|}にあてはまるものをそれぞれ選び、記号で答えなさい。

大陸は海洋に比べて、a{|ア あたたまりやすく、冷めやすい イ あたたまりにくく、冷めにくい|}ので、ユーラシア大陸上にb{|ア 上昇 イ 下降|}気流ができる。よって、図3のように高気圧と低気圧が位置するため、c{|ア 北西 イ 南東|}の季節風がふく。

- (2) 図4は、8月、9月、10月における台風のおもな進路を表し 図4

たもので、台風の進路はしだいに南下する傾向が見られる。台風の進路が南下するのはなぜか。台風の進路に影響をおよぼす高気圧の名称を用いて、その勢力について次の文中の空欄にあてはまる形で、15字以内で答えなさい。

□から。



(1)	①	ていたい 停滞			前線	
	②	a	エ	b	イ	
	③	いどうせいこうきあつ 移動性高気圧				
	④	a	ア	b	イ	c

(2)	太平洋高気			
	圧が弱くな			
	る			

から。

右記参照

- (1) ② 図1は梅雨の時期の天気図で、停滞前線の北側に冷たく湿ったオホーツク海気団、南側にあたたかく湿った小笠原気団がある。
- ③ 図2は春の時期の天気図で、低気圧と移動性高気圧が交互に通過する。
- ④ 図3は冬の天気図で、ユーラシア大陸上でシベリア高気圧が発達し、西高東低の気圧配置になる。このとき、ユーラシア大陸から太平洋に向かって、北西の季節風がふく。
- (2) 台風は太平洋高気圧のふちに沿って北上したあと、偏西風によって東に進路を変える。8～10月にかけて太平洋高気圧は弱くなるため、台風の進路はしだいに南下していく。